

プレスリリース

平成20年度畜産大賞は研究開発部門 「インフルエンザウイルスの生態解明とライブラリーの構築」に決まる

平成21年1月7日
社団法人 中央畜産会

中央畜産会では、平成10年度より日本中央競馬会特別振興資金助成事業（財団法人全国競馬・畜産振興会助成）により、我が国畜産の「経営」「地域畜産振興」「研究開発」のそれぞれの分野で取り組まれている事例のなかから、その内容が合理性、普及性、発展性を有し、今日的・社会的意義のある事例について「畜産大賞」等として表彰をしております。

本年度の畜産大賞の受賞事例については、1月6日に開催した中央全体審査委員会（審査委員長：京都大学名誉教授 宮崎 昭氏）において、研究開発部門最優秀賞の「インフルエンザウイルスの生態解明とライブラリーの構築」（北海道大学大学院獣医学研究科動物疾病制御学講座微生物学教室）に決定しました。

選考は、「経営」「地域畜産振興」「研究開発」の3部門の審査委員会において、農業・畜産関係団体、学会等より推薦された事例と一般公募事例を書類および現地確認等で審査し、各部門の最優秀賞、優秀賞および特別賞を決定、さらに各部門の最優秀賞の中から畜産大賞1点を中央全体審査委員会において決定する方式で実施いたしました。

なお、業績発表ならびに表彰式は、平成21年2月9日（月）13時00分より虎ノ門パストラル（東京都港区虎ノ門）にて開催いたします。

<お問い合わせ先>

事業第二統括部(資金・経営対策)

担 当：梅田、三上

T E L : 03-3581-6732 F A X : 03-5511-8205

E-mail : grand@sec.lin.go.jp